



「コミュニティユニオン東京」ニュース NO-091号 2017年7月20日  
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F  
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp  
 http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」  
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

# 労働者一人ひとりに寄り添い、「駆け込み寺」の役割果たそう！ 1500人組合めざそう！

第9回定期大会 80人参加 7月8日（土）ラパスホール



大会に冒頭あいさつする小倉一男委員長。  
 経過報告・方針案を全員一致で採択、スト権を確立、全員の団結頑張ろうで大会を締めくくりました。

## 組合員1111人で大会迎える

CU東京は7月8日（土）、ラパスホールで第9回定期大会を開催しました。大会は、組合員1111人の最高の到達を築き迎えました。参加者もこれまで最も多い80人参加の大会になりました。

## 物心正面で支援していく

大会には東京地評、東京土建、SU埼玉、共産党都議会議員から挨拶をいただき、CU東京への物心両面の支援など力強い激励、共同・連帯の言葉が寄せられました。（挨拶要旨は2面に掲載）

## 中野支部の結成、三多摩協議会に分会

新しく中野支部が結成され、三多摩協議会では多摩稲城分会が発足など、組合員数の前進とともに、組織的前進の中で迎えました。CU東京は15支部・団体になりました。

## 安倍改憲阻止の国民運動と連帯して

「国政を私物化し」「憲法蹂躪の安倍政権」に対する厳しい審判が都議選で下り、自民党が歴史的な大敗北に追い込まれる中での大会となりました。「アベ改憲」阻止の国民運動と連帯し、たたかう決意を

固め、憲法を守る国民運動と連帯していくことを確認しました。

## 相談員65人、「駆け込み寺」の役割果たす

「人間らしい雇用のルール」の破壊は、「格差と貧困」を拡大、日本社会の危機を深刻にしました。「一人ひとりに寄り添い」、「駆け込み寺」の役割を果たしてきました。労働相談員は65人を超え、ひきつづき相談員体制を強めていくことにしました。

## 3000人展望し当面1500人組合めざす

中期目標3000人を展望し、早期に1500人めざすことにしました。CU東京を知ってもらう活動、懇談を積極的に進めていくことを確認しました。

### 【来賓】（先に記した以外の来賓）

- ・東京労働相談センター 前澤檀所長
- ・都労働相談情報センター・池袋事務所（根本様）
- ・CU東京関根和夫元書記長

### 【祝電・メッセージ】

- ・全労連 ・都教組 ・全神奈川地域労組協議会
- ・全労連新宿一般労組 ・東京社保協
- ・日本協同システム
- ・CU東京市瀬正樹元委員長

## 来賓4氏の挨拶（要旨）



### 都議選で白黒はっきり

東京地評・松森陽一事務局長

国連で核兵器禁止条約が採択された。都議選結果もパンダの赤ちゃんではないが白黒はっきり、安倍「改憲」阻止に国民の声を結びつけていく、労働組合の闘いも正念場、労働法制改悪阻止、格差と貧困の広がり、経済も底が抜けつつある。三つの課題を見据え、組織の拡大強化は必要、地評も物心両面で貢献したい。一緒に闘い抜きたい。



### 引き続きCU支えていく

東京土建・唐澤一喜常任委員

土建は4.5月、拡大目標3,679人に対し6,000人超す拡大を成功させ組織数は115,788人。現場に入るのに社会保険加入が義務化された事大きい。「法定福利費分がもらえない」下請事業者も多いため労働者を一人親方にしてしまう現状も進んでいるのが課題。土建もCU東京を引き続き物心両面で支えていきたい。



### 草加に新たに支部結成

SU・中山松夫書記長

都議選でのご奮闘ご苦勞様です。SU(埼玉ユニオン)は草加に新たに支部結成、5支部が活動中だ。5月は10人拡大、2人実増。労働相談も「長時間勤務で残業代が出ないのはおかしい」等増えている。労働審判員が9人いる。CU東京にも学び組織的にも200~300人目指していく。



### 暴走への怒り大きい

共産党・里吉ゆみ都議会議員

都議選は自民党が歴史的敗北、共産党は32年ぶりに連続的前進。自民と最後の一議席を争い勝ち取ったところもある。自民支持者からも応援、安倍政権の聞く耳持たない暴走への怒り大きい。解散総選挙と一緒に安倍退陣を勝ち取り、国を変えていこう。

## 代議員10人の発言（要旨）



### 組織の定着が課題

ユニオンちよだ・渡辺代議員

大和ハウス争議が解決、お礼を申し上げたい。ちよだの執行委員が不在となったが、選任できた。相談や争議はあるが組織に定着できない課題がある、執行委員会に参加し経験を学びたい。たえず複数の争議を抱えるが、一人ひとりに目配りできない点もある。相談はHPから、本部のHPは活動家向けでは、改善を提案したい。



### 闘いへ支援を！

こうとう・青木代議員

裁判を闘っている。パワハラと残業代未払いでカラオケの第一興商と闘っている関川さん、今日は参加していませんが、来週の月曜10日東京地裁、応援してほしい。私は日本ヒューレットパカードと解雇問題で闘っている。8月13日に裁判傍聴支援をお願いしたい。



### ユニオンのすごさ感じる

団体・岡代議員

うつ病になり、CU東京の本部にお世話になり、会社と団交ができ、さらに裁判も闘い解決できた。これまでは管理職だったがユニオンのすごさを感じている。派遣法は憲法違反だと思っている。9条は守らなくてはいけない。CUを大きくするしかないと感じている。



### 参加7人は労働相談の仲間

こうとう・中村代議員

支部から10人参加、7人は労働相談からの仲間だ。本部の1000人達成に23人拡大、春は17人拡大で249人の組織になった、定年等で脱退がなければ490人だ、「駆け込み寺」だけでなく居場所づくりが必要。葉書ニュースを月1回、学習交流のあと500円会費で懇親し30人以上参加している。この間、5職場分会で春闘要求を出した。学習を強めていきたい。専従者2人体制にできたが300~400人にする決意だ。



### 解決に向けて5回の団交 品川・池野代議員

支部はいま48人で、「三崎マグロ」や「森林鉄道公園と温泉」の2回の交流で加入者迎えた。労働相談が10数件寄せられている。自民党の谷垣衆院議員が会長の財団、サイクリング協会のリストラ争議で5回の団交、監督署への申告で書類送検もあり解決にむけて奮闘中だ。



### 矢内争議支援訴えたい 文京・益子代議員

今日二つのチラシ配布させていただいた。一つは最賃1500円を求めるデモをやる。7月15日、来週ぜひ成功させたい。もう一つは矢内さんの争議、雇用延長を認めろ、退職金を払えと闘っている。7月12日、昼休み社前抗議行動を行う。今回もぜひ成功させたい。



### 中野支部4月に結成！ 中野・菊池執行委員

4月に結成した。私は教組出身だが土建中野支部の物心両面の支援があり感謝したい。様々な駅宣をしてきたがCUの宣伝、反応が大きい。この間、若者も参加し8人でやったが10人からチラシ下さいとか相談あった。若者がいると相談しやすい、CUの裾野の広がり期待したい。



### この一年165人から204人に 三多摩協議会・三宅代議員

8人の代議員で参加。この一年165人から204人に組織を増やした。相談からの加入はこの間15人、脱退は少ない。執行部は20人で2カ月に一回学習会を含め開催。多摩稲城に初の「分会」（40人）も出来た、多くの自治体で分会結成を図りたい。今年の相談は33件、圧倒的に非正規。相談員も12人に、毎月の事務局会議に白根弁護士がボランティア参加。ニュースも毎月発行し送付。当面250人、300人を目指す。



### 労働相談は11人体制 江戸川・三枝代議員

江戸川の労働相談は11人体制だ。相談員を受けてメールで流し、都合がつく人が複数で対応している。労働相談の交流なども開催してきた。中小事業所など経営側からの相談もある。地域なので対応している。これまでの相談事案を研究し、解決までのやり取りなどもお互いに学んでいる。



### 160人で大会を迎えたい 渋谷・海崎代議員

春の拡大目標達成できず反省している。今157人の組織人員だが、つながり生かしあと3人拡大し160人で大会を迎えたい。相談も増えているが区労連として対応している。秋の渋谷集会の成功に向けて実行委員会を開きすすめている。学習の友にも紹介された。

## 討論の答弁・まとめ

高木書記長



活発な討論いただいた。限られた時間にも関わらず、この1年間の運動と闘いが反映されたものと思う。いずれの発言もCU東京の特徴、「駆け込み寺」としておおいに奮闘した労働相談活動。そして組合員拡大について経験と新たな決意も報告いただいた。お互いに学んでいきたい。また要望、ホームページの改善、新たな分野への働きかけなど受け止め、取り組んでいきたい。当面の1500人組合に向け力合わせ奮闘していきたい。

■CU東京第9回大会は、大きな前進をつくり迎えました。組織人員は1111人。15支部・団体。労働相談員は65人。大会参加もこれまで最も多い80人。代議員の発言は1年間の奮闘と確信を示しました。■直前の全国注視の都議選は自民党の歴史的な惨敗に象徴されました。「政治の私物化」、安倍「改憲」に厳しい審判が下されました。■CU東京を知らない人が圧倒的、懇談、共同をすすめ、さらに大きく踏み出しましょう。

## 2016年度 年間労働相談結果について 第9回定期大会

CU東京の1年間の労働相談活動の集約をしました（12支部の報告を集計）。（集約・分析は労働相談責任者の川村副委員長）



### 1年間の相談は324件

2016年4月から2017年3月までの労働相談件数は、文京、足立、千代田、渋谷、江戸川、江東、港、品川、練馬、葛飾、三多摩、団体の12支部で合計324件でした。年間労働相談件数は、集計を取り始めた2011年度が295件、2012年度が279件、一昨年が274件、昨年が290件ですから昨年より34件、1割以上増えています。これは、CU東京の組織人員と支部が増え、労働相談体制が拡充してきたことによるものと考えられます。相談件数の増減を支部ごとに見ると、文京(14→11)、足立(30→5)、千代田(16→21)、渋谷(10→28)、江戸川(38→37)、江東(102→103)、港(48→60)、品川(9→10)、練馬(9→9)、葛飾(8→6)、三多摩(14→31)、団体(0→3)で、千代田、渋谷、江東、港、品川、三多摩、団体の相談件数が増えています。各支部とも労働相談体制の拡充・強化が望まれます。

### 相談者の組合加入率34.0%

労働相談者の組合加入率は、2011年度35.2%、2012年度36.9%、2013年度54.9%、2014年度54.1%、2015年度が36.6%、2016年度が34.0%で昨年より低下しています。各支部の労働相談者の組合加入率で50%を超えるのが、文京、足立、千代田、品川、葛飾、三多摩の6支部です。労働相談の解決率は、2011年度が18.3%、2012年度が20.8%、2013年度が18.9%、2014年度が23.4%で、2015年度が23.8%、2016年度が21.0%で解決率は昨年よりやや下がっています。相談者の年齢は30代から50代に集中しているのは例年通りですが、今年度は40代が増えたのが特徴です。

### 「解雇・雇止め・退職強要」が第一位

労働相談内容は、「解雇・雇止め・退職強要」が今年度の第一位、「労働契約・賃金労働条件」

が第二位、「嫌がらせ・イジメ・セクハラ・パワハラ」が第三位、第四位が「賃金未払い・残業代未払い」という結果でした。

### 解決手段は、団体交渉がダントツ

相談経路は、「全労連ホットライン（労働相談ホットライン）」「組合員の紹介」「民主団体・政党」の順で、ネットが四位でした。ビラ・チラシは昨年同様2.1%でした。ネット経由は、一昨年は8.8%、昨年は9.4%、今年は9.6%でした。解決手段は、団体交渉がダントツで、解決内容も団交による金銭和解が圧倒的でした。68件の解決のうち職場復帰は9件（13.2%）でした。労働委員会も含む法廷闘争・労働審判による解決（和解も含む）は7件（10.3%）、労働審判・労働委員会・地裁本訴の提訴件数の合計は、昨年と同じ10件でした。

CU東京2017年度役員体制

役職名	名前	前所属
執行委員長	小倉 一男	こうとう
副執行委員長	唐沢 一喜	東京 土建
	平山 和雄	団 体
	川村 好正	こうとう
	高島 素昭	練 馬
	大江 拓実	三 多 摩
	寺川 知子	渋 谷
書記長	高木 典男	団 体
書記次長	宮本 一	三 多 摩
執行委員	鈴木 明彦	ちよだ
	高橋 孝	港
	松井 優希	こうとう
	佐藤 盛雄	品 川
	宮澤 國寛	江 戸 川
	岡野 健次	葛 飾
	宮下 武美	足 立
	山田 三平	文 京
	作田 信義	豊 島
	野中 晴	北
	根岸 弘子	練 馬
	伊藤 栄江	渋 谷
	小野塚洋行	三 多 摩
	三宅 一也	三 多 摩
	遠藤日出夫	団 体
	伊藤 潤一	団 体
	菊池 恒美	中 野
会計監査	渡辺 睦	東京 土建
	塚本 晴彦	団 体